

2020年「介護・認知症なんでも無料電話相談」へのご協力をお願い

日頃のご奮闘に敬意を表するとともに、社会保障充実のための運動へのご協力に感謝いたします。

さて、今年で11回目となる「介護・認知症なんでも無料電話相談」への更なるご協力をお願いする次第です。

昨年(2020年11月11日)実施した「電話相談」では、24県社保協で取り組み271件の相談が全国各地から寄せられ、深刻な介護の実態が明確になりました。詳しくは別紙の「社会保障誌 No494」をご覧くださいと思います。

この1年余、コロナ禍で介護現場がおかれた状況は過酷の一言です。高齢者施設でのクラスター感染による感染者は9490人、死者は486人にのぼっています(5月30日共同通信調べ)また、在宅介護の職員は公費負担の検査から除外しています。ワクチン接種の優先は「条件付き」、すなわち「感染者や濃厚接触者へのサービス継続」を事業所が確約した上で、従事者がその条件を確認して接種するなどとなっています。このような、利用者・家族、介護従事者などより多くの事例を元に、介護改善運動につなげていきたいと考えています。

マスコミを通じた広報を強化していく所存ではありますが、特に各団体・組織内部での宣伝を強めていただけますよう是非ともよろしく申し上げます。これまで取り組みを発展させるうえで、労働組合や各団体内でも「介護問題で悩んでいる」「どこに相談したらよいのか分からない」など様々な状況があるかと思しますので、そうした皆さんに「介護・認知症なんでも無料電話相談」があることをお伝えしていただき、気軽に電話相談をしていただければ幸いです。そのために以下の点については是非ご検討をお願いする次第です。よろしく願いいたします。

○ ご協力をお願い内容

2020年「介護・認知症なんでも無料電話相談」の広報資材を活用し、各労働組合、各団体内でお知らせ下さい。具体的には、全国・各都道府県単位など機関紙や組合ニュース、各団体での発行物に記事やチラシ(版下)を掲載してください。

添付資料 2020年「介護・認知症なんでも無料電話相談」チラシ、版下

「介護・認知症なんでも無料電話相談」に関する記事

2019年「介護・認知症なんでも無料電話相談」から～介護保険で介護や生活は救われたい！深刻な介護の実態の報告(社会保障誌 2020年春号 No.489) など

○ この件でのお問い合わせ先

中央社保協 山口・是枝

電話 03-5808-5344 Fax03-5808-5345 E-mail k25@syahokyo.jp

以上